

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	緑を楽しむ講座 習志野「目の前で沢山のカモを見てその違いを楽しもう」		
開催日時	2024年 2月 18日(日) 10時20分 ~ 14時00分		
開催場所	市川市じゅん菜池緑地~里見公園	一般参加者	26名

活動概要

今回は、カモ類を目の前に見ることができる「じゅん菜池」と、江戸川から東京方面を展望する古戦場に木々が繁り冬の小鳥が期待できる「里見公園」とを合わせた企画。好天で風も弱く絶好の探鳥日和に恵まれ、充実したカモ観察会ができた。

最初に鳥を観察する上での基本である双眼鏡の使い方や、本日見られる可能性の高い鳥をA-4の大きな写真で説明して観察開始。

じゅん菜池は幅50m長さ500mの細長い池に毎冬多くのカモが飛来するため、すぐ目の前でじっくりと種ごとの特徴や、雌雄の違いを観察ができる。今回は10種類のカモ類を観察できた。

池畔に出るとすぐ、コガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、オナガガモなどが迎えてくれる。手の届きそうな距離なので、スタッフが準備した6本のスコープもほとんど出番がない。進むうちに岸辺でのんびり日向ぼっこをしているマガモやカルガモに加え、一見地味だが鳥好きには人気のオカヨシガモも登場。どの種もそろそろペアリングができつつあるので雌雄の違いも見ることができる。池に浮かんでいるキンクロハジロを見ているとその群れの中に1羽ホシハジロが混じっていた。更に、比較的珍しいアメリカヒドリも登場。それぞれのカモの色合いが光の当たり具合によって変化するさまも楽しめた。探鳥会のスターであるカワセミを一部の人しか見ることができなかったことが心残り。

昼食後、戦国時代に北条と里見が激突した「国府台の合戦」の古戦場にある里見公園に移動。途中、市指定文化財の「辻切り」が見られた。町内の魔除けとして祀られているもの。公園は日曜日とあって家族連れが多く、期待した小鳥たちはなかなか登場してくれないが、時折メジロやシジュウカラ、姿は見えないがウグイスの笹鳴きなどを見聞きすることができた。台地の上から目の下を流れる江戸川に浮かぶオオバンなども観察。古戦場の史跡を一巡した後、鳥合わせをして解散した。



FIC 講師：チーフ 樋口

アシスト 伊藤(佳)、山家、長岡、安武